

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年2月3日 (2011.2.3)

【公表番号】特表2010-512421(P2010-512421A)

【公表日】平成22年4月22日 (2010.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-016

【出願番号】特願2009-541545(P2009-541545)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7125 (2006.01)

C 0 7 H 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

C 1 2 N 15/117 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7125

C 0 7 H 21/04 Z

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 37/04

C 1 2 N 15/00 Z N A J

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月10日 (2010.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 ~ 9 2 として表 I に示されるオリゴヌクレオチドを有する T L R 9 アゴニストであって、ヌクレオシド間結合が、ホスホジエステル結合、ホスホロチオエート結合、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される、前記 T L R 9 アゴニスト。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の T L R 9 アゴニストを含み、さらに生理学的に許容し得る担体を含む、医薬組成物。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の組成物を含み、さらに抗体を含む、ワクチン。

【請求項 4】

脊椎動物において T L R 9 媒介性免疫反応を引き起こすための医薬組成物であって、請求項 1 に記載の T L R 9 アゴニストの有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項 5】

脊椎動物において T L R 9 媒介性免疫反応を引き起こすための医薬組成物であって、請求項 2 に記載の組成物の有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項 6】

疾病または疾患を有する患者を治療的に処置するための医薬組成物であって、請求項 1に記載の T L R 9 アゴニストの治療有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項 7】

疾病または疾患を有する患者を治療的に処置するための医薬組成物であって、請求項 2に記載の組成物の治療有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項 8】

疾病または疾患を有する患者を治療的に処置するための医薬組成物であって、請求項 3に記載のワクチンの治療有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項 9】

疾病または疾患にかかりやすい患者において該疾病または疾患を予防するための医薬組成物であって、請求項 1に記載の T L R 9 アゴニストの予防有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項 10】

疾病または疾患にかかりやすい患者において該疾病または疾患を予防するための医薬組成物であって、請求項 2に記載の組成物の予防有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項 11】

疾病または疾患にかかりやすい患者において該疾病または疾患を予防するための医薬組成物であって、請求項 3に記載のワクチンの予防有効量を含む、前記医薬組成物。

【請求項 12】

疾病または疾患が、癌、自己免疫疾患、気道炎症、炎症性疾患、感染症、アレルギー、ぜん息、および病原体により引き起こされる疾患からなる群から選択される、請求項 4 ~ 11のいずれかに記載の医薬組成物。